

きらめき百歳

長月 Vol.13
2013年9月号

柴田 和子 75歳



ギネスブックにも紹介された
伝説の生保レディ

映画に魅せられて
青木 勝彦 71歳



あなたの中の『ハイジ』を探せ

岩田 明子 49歳



後藤新平賞 受賞

園田 天光光 94歳



戦争は知らない
道楽院殿醉生
高山 茂樹

転倒防止体操
トラベルヘルパーの
スマイルレポート

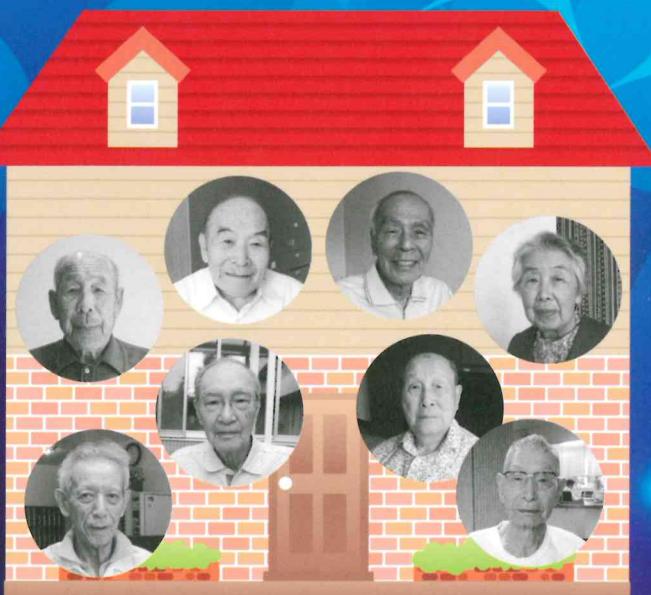
あ・える俱楽部

「私の終戦」 敬老園札幌の皆さん



畠のおうち

岡崎 英生 69歳



ふるさとのお墓参り家族旅行を紹介します

(宇田川トラベルヘルパー)

心に寄り添い… トラベルヘルパーの スマイルレポート

トラベルヘルパーとは

トラベル+ヘルパー、お客様の介助をしながら外出支援するプロのエスコートサービスのことです。介護技術と旅の業務知識をそなえた「外出支援」の専門家です。身体に不自由のある人や健康に不安がある人の希望に応じて、身近なおでかけから介護旅行の相談、コーディネイトまで、暮らしの外出に関わるすべての支援サービスを行います。

息子さんご夫妻からの依頼を受けて、ご両親の故郷へ、お墓参りのお手伝いさせていただきました。大宮のホームから群馬県前橋市へ日帰りです。まずは、ご主人のお母様のお墓へ。墓前で、ご主人は涙されていらっしゃいました。

お母さんご夫妻からの依頼を受けて、ご両親の故郷へ、お墓参りのお手伝いさせていただきました。大宮のホームから群馬県前橋市へ日帰りです。まずは、ご主人のお母様のお墓へ。墓前で、ご主人は涙されていらっしゃいました。



歩いていたのに、旅館の長い廊下を歩ききることができませんでした。そんなに体力がなくなっているとは思ひもしませんでした。やつとたどりついた大浴場には他の宿泊客もいて、母は治療時にカテーテルを入れていたため傷だらけの太ももを隠したまま、とうとう浴槽には入ることはありませんでした。

今なら、そんな簡単なこと…と思うような、室内用車いすや貸切風呂、温泉付きの部屋を手配することを、一緒に暮らしていた家族だったにもかかわらず、当時の私は考えもしませんでした。連れて行きたいという思いだけでつきすすみ、悲しい思い出を残してしまいました。

テレビや新聞、HP等を通して、あ・える俱楽部に初めてお電話を下さるお客様やご家族の声から、不安や緊張、ドキドキが伝わってくることがあります。電話越しにそんな声を聞いたら、その方にとって一番いい旅行を準備して、一番いいトラベルヘルパーと一緒に歩いていただきたいと思いま

ご本人もご家族も、泊まるところはバリアフリー?、食事は大丈夫?、移動はどうしたらいいの?など、先走って心配したり不安になつたり、やっぱり無理だよね…と自己完結しがちですが、「どこに行きたい」「〇〇をしたい」「誰々に会いたい」を、まずは、あ・える俱楽部にお伝え下さい。

バリアフリーだから行こうではなく、その方にとつてのバリアをどうしたらバリアフリーにできるのか、をご提案して実行するのが、トラベルヘルパー。

そのバリアがハード面でも、気持ちや理解不足のソフト面でも、どうでも解決します。初恋の人会いたい、あの場所にまた行きたい、孝行したい、なんでもいいので、まずは「〇〇したい」を教えて下さい。

私がトラベルヘルパーになつたわけ そしてこれから



SPI あ・える俱楽部 事業部勤務
宮下 典子

トラベルヘルパーを始めて、今年で5年目の夏を迎えるました。今の主な仕事は、介護旅行の現場同行するトラベルヘルパーではなく、事前のご利用相談から旅行の行程・見積作成・手配先との交渉・トラベルヘルパーの選定・指示・アフターケアなどの、いわば介護旅行の裏方です。

旅行相談の仕事は、お客様の状況やご希望を伺いながら、集めうる情報と手段を駆使して、お客様がトラベルヘルパーを利用することで、楽しく快適に旅する舞台をつくることです。日々、悪戦苦闘の連続ですが、思いのつまつた特別な旅行に携わることに喜びを感じています。

トラベルヘルパーを知る1年前、末期がんの母と温泉旅行に行つたことがありました。自分が好きな部屋を用意して母と泊まりました。しかし、その部屋から大浴場まで行く廊下の途中で、母は歩けなくなってしまいました。自宅での暮らしの中では手すりや家具につかり

競技の喜びです。「行きたい!」という思いをもつて、ご本人がいて、その思いを支える家族、普段の生活にかかる介護や医療従事者、旅行先の宿泊、運輸、観光施設の一人一人、現場のトラベルヘルパー等、関わるすべての人たちが、それぞれの役割の中で最善を尽くし、一つの冒險のような旅を

